

まちの話題



あなたの周りの身近な出来事や話題をお知らせください。
問い合わせ 市広報秘書課 ☎43・8113



砂浜での熱い戦い

ふくつビーチサッカーフェスティバル



▲アクロバティックなプレーが多いのもビーチサッカーの魅力です

津屋崎海水浴場で8月19日と20日、今年で19回目を迎える「ふくつビーチサッカーフェスティバル2017」が開催されました。2日間とも快晴となった真夏の暑さの中、子どもから大人までレベルに応じたクラスに分かれて試合が行われ、県内外から合計45チームが参加しました。砂の上でプレーするビーチサッカーはボールのコントロールが難しく、選手たちは砂に足を取られながらも、懸命にボールを追いかけ、足技を競いました。ゴールが決まったり豪快なプレーが繰り出されたりすると、応援に来た人たちからはひととき大きな声援が送られていて、2日間各コートでは白熱した戦いが繰り広げられていました。



▲気温34度の中、作業を行いました



▲支援助物資を届けた市商工会青年部

少しでも復興の力になれば

九州北部豪雨被災地での活動

市では、7月の九州北部豪雨災害の被災地を支援するため、朝倉市に市職員を派遣しました。7月21日、25日、27日、8月5日、8月18日、20日までに合わせて20人が派遣され、災害ごみの受け入れなどの業務に当たりました。8月19日は、市派遣の2人に加え、県内の他の市町村からも6人が参加し、車で搬入されてきたごみを産廃業者の指示のもと、可燃物や木材、金属、家電などに分別しました。

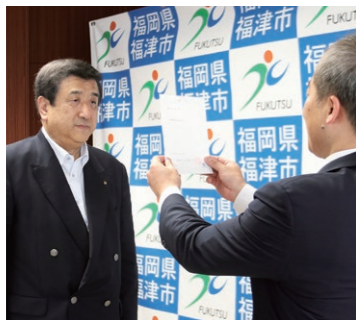
また、市商工会青年部は、7月7日に部員から集めた支援助物資を被災地の商工会まで運搬しました。

新監査委員就任の挨拶

灘谷和徳

私は、行政に関わる職務は初めてですが、これまで培ってきた企業や非営利法人等に対する監査業務等の経験を生かし、私なりの視点でこの務めを果たして参りたいと考えております。監査委員という役職は「公正で合理的かつ能率的な市の行政運営確保のため、指導に重点を置いて監査等を実施し、もって、市の行政の適法性、効率性及び妥当性の保障を期する」とされています。これからの任期中、福津市民の皆様のため、この重責を全うさせていただきます所存です。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

灘谷 和徳



▲6月28日に辞令が交付されました

景色やまちなみを楽しみながら

津屋崎里歩きフットパス



▲宮司・浜の松原を歩く参加者

海とまちなみの会が、7月29日にフットパスを開催しました。約30人の参加者は、宮地嶽神社や宮地浜の夕陽風景時計、津屋崎松原などを巡る約3kmのコースを、自然や旧跡を楽しみながら散策しました。吉村勝利会長は「市内にはすばらしい風景がたくさんあります。フットパスを広めて、みんなで共有していきたい」と思いを語りました。

楽しく防災を学ぼう

双葉保育園で防災講座



▲飲み水を作る装置に興味津々

双葉保育園で防災講座が行われ、地震が起きたときの身の守り方や災害時の水の大切さを学びました。汚れた水から飲み水を作り出す実験では、きれいな水が出てくる様子に園児たちから「すごい」と歓声が上がりました。講師の佐藤輔さんは「子どもたちの気付きにつながればいいですし、今日のことを家庭でも話してほしい」と語りました。

ようこそ福津市へ

松本市の小学生との交流事業



▲初めて海に入った子どももいました

福津市、宗像市、長野県松本市は、平成26年から3市の小学生がお互いに訪問し合って交流を深めています。8月2日から8月4日まで、松本市の小学5・6年生10人が福津市、宗像市を訪れました。福津市の児童が新原・奴山古墳群や宮地嶽神社を案内したり、一緒にシーカヤックなどの海洋スポーツ体験をしたりして、充実した3日間を過ごしました。

高齢者のふれ「愛」の場所

東福岡にふれ愛サロンが完成しました



▲9月1日にオープンしました

東福岡3丁目に完成した「ふれ愛サロン」の落成式が、7月28日にありました。あいだ医院の厚子医師が尽力して、長年思い描いてきた高齢者が気軽に寄りあえる場所として実現したものです。東福岡中央公民館の分室として運営し、利用の際は会員登録が必要ですが、趣味やお喋り、健康相談など、気軽にお立ち寄りください。